

むさしの TALK

子どもを安心して送り出せる 親にとってありがたいまち

マギーさん (俳優・脚本家)

俳優として、脚本家や演出家として、演劇界で多彩に活躍するマギーさん。親となった今、吉祥寺の良さを改めて感じているそうです。



マギー

1972年兵庫県生まれ。明治大学在学中に男6人のお笑い集団「ジョビジョバ」を結成。俳優や脚本家、演出家などとして活躍する。最近ではNHK『バカボンのパパよりバカなパパ』（6/30（土）スタート）、CX『絶対零度 未然犯罪潜入捜査』（7/9（月）スタート）にレギュラー出演するなど名脇役としての確固たる地位を確立している。

● PRESENT

今回取材した、マギーさんがリーダーを務める「ジョビジョバ」のコントライブDVD『Keep On Monkeys』（マギーさんサイン入り）を抽選で2名様にプレゼント！詳しくは本誌折込みマガキをご覧ください。



父の仕事の都合で、小学5年生から第一中学校を卒業するまでの約5年間を武蔵野市で過ごしました。高校時代は神戸に住んでいましたが、大学進学のために上京してまたこの周辺に住んだので、多感な青春時代を過ごした第二のふるさとのような場所だと思っています。当時、新宿や渋谷にももちろん出かけましたが、行くにはちょっと気合いを入れる必要がありました。でも吉祥寺なら気軽に出かけられて、買い物も食事、飲み屋さんや仲間と遊ぶ場所も、ついでに公園まで近くにあるので、よくこの辺で過ごしました。

今は2人の娘が、縁あって市内の小学校と中学校に通っています。親としてとてもありがたいと思うのは、子どもに「吉祥寺で遊んでくる」と言われる分には安心できるということ。もしも新宿や渋谷に行く必要が言われたら「大丈夫かな？」と心配になってしまいますが、吉祥寺なら、「いいよ、いいよ」と安心して送り出すことができます。これは大切なポイントだと思っています。

イントだと思えます。ちょっと背伸びして遊び始めた子どもたちが安全に過ごせるまちであり続けてほしいですね。

たびたび、「住みたいまちランキング」の上位に選ばれたりしていますが、そう言われ出してから、なんだかまち自体が、見映えの良いオシャレなまちになるうとして、よそ行きの顔を始めている気がしてなりません。ハーモニカ横丁も海外にあるバルのような店が増えているけど、あそこから昭和の香りがなくなっちゃったなら、うらやましいですね？

地元の人たちが普段着で、なんなら自転車ですらっと来られる、ヨソイキ感とローカル感の融合した、そんなまちでいてほしいなと思います。

